

# 千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信

(NO.18)

2008.4.30

## もくじ

1. 12月度(2) 臨時ボランティア活動・報告  
＜郷台作業所・ユリノキ倒伐見学＞
2. 1月度(1) 定期ボランティア活動・報告  
＜ニホンジカ生息数調査サポート＞
3. 1月度(2) 定期ボランティア活動  
＜演習林・冬の森を歩こうサポート＞
4. 2月度 定期ボランティア活動  
＜向山・加勢林歩道杭設置作業＞
5. 3月度(1) 定期総会  
＜定期総会・演習林を歩こう 不動の滝から浅間山＞
6. 3月度(2) 臨時ボランティア活動  
＜三石・郷台・猪ノ川ガイド＞
7. 5月度 定期ボランティア活動・募集案内(予定)  
＜造林研修会&歩道標識杭の補修整備＞
8. 6月度 定期ボランティア活動・募集案内  
＜利用者説明会＞
9. 平成20年度会員登録のお願い

## 12月度(2) 臨時ボランティア活動・報告

～郷台作業所・ユリノキ倒伐見学～



ボランティア 石川 輝雄

郷台作業所のユリノキ<sup>注</sup>が枯れ始めていて、切り倒すことが決まったとの情報を得たので、その事前作業としての枝落としと本体の伐倒作業の見学をさせていただきました。このユリノキは胸高直径 1.3

m、高さ 30mほどの巨木で郷台作業所構内の道路すぐ脇にあります。すぐ近くに小屋があり、宿舍の建屋も 10mとは離れていない等と、倒すには悪条件の場所で、どのような方法で切るのか非常に興味がありました。

平成 19 年 1 月 2 日 18 日（火）に準備作業の枝落とし作業が行われ、石川（輝）（れい）と恵さんの 3 名が見学しました。当日は晴れたものの、見学していると足もとが凍えるような一日でした。郷台作業所へ車で送ってもらい到着すると作業はもうはじまっていた。今回の枝落としの作業は外部の専門家をお願いしていました。ユリノキの枝の一番高い所にロープを掛け、一方を自分の体に結んで命綱として、枝を順番にチェーンソーで切り落とすという方法です。目の前の枝を次々に切っていく訳ですが、枝といっても太いものは直径が 30cm 位はあ



ります。自分の方に切った枝が倒れて来たら逃げることのできない高所での状態で、すごい迫力です。特に今回のユリノキは落葉樹で葉が全部落ちている状態ですので、どこが枯れていて、どこが生きているのか、全然わからない状態です。枝のつきかたと強さを十分知りつくして、次々に手際よく枝を落としていく姿はさすが専門家と感心しました。



年が明けて 2 月 22 日（金）にユリノキを根元から切る作業がありましたので、恵、土橋さんと石川（輝）の 3 名が見学しました。ユリノキは全部、枝がすべて落とされて柱の状態になっていましたが、まだ高さ 10m 以上はあると思われます。倒す方向は郷台宿舍の反対方向の道路

に添って倒すしかなく、正確に倒す必要があります。今回の作業は職員の米道さんと唐鎌さんです。大型のチェーンソー（STIHL 製：ガイドバー 80cm ほど）で先ず受け口がつけられ、反対側から追い口をいれるとユリノキはゆっくり傾き始め、目的の方向に倒れました。着地するとものすごい音がして地面からバウンドしたように見えました。切り倒されて横たわっているユリノキを見てあらためてその大きさにびっくりしました。

注）ユリノキ（*Liriodendron tulipifera*）モクレン科ユリノキ属

北アメリカ原産の落葉高木、半纏（はんでん）を広げたような形の葉から別名ハンテンボク、5～6 月頃に枝先に直径 5～6cm のチューリップのような黄緑色でオレンジ色の斑紋のある花を咲かせる。松かさ状の翼果をつけ、離れ落ちる時に風に飛ばされくるくる回転しながら落下する。

# 1 月度 ( 1 ) 定期ボランティア活動・報告

～ニホンジカ生息数調査サポート～

ボランティア 石川 輝雄

平成20年の1月10日(木)～11日(金)の2日間にわたって恒例の演習林のニホンジカ、イノシシ、サル、キョンなど大形哺乳類の生息数調査がおこなわれました。

ボランティア会 Abies としては岩崎さんと石川の2名が参加しました。参加者構成は東京環境工科専門学校の学生、鴨川市有害獣駆除員、田無試験地・秩父演習林・樹芸研究所の職員、NPO 法人房総の野生生物調査会などのみなさんと私たち千葉演習林ボランティア会 Abies の14名と千葉演習林職員約26名が参加し、合計40名前後の人員が参加する大掛かりな調査です。

私と岩崎さんは前泊をしましたので、明日の資料を事前に貰うことができ、説明も受けたので、大変楽に調査することが出来、勉強になりました。

10日の朝、8時30分に清澄作業所の前に集合しました。晴天です。山中(征)先生より調査方法、調査区域の区画割、配置、調査時間、注意事項などの説明があり、各自の時計を合わせてから、午前中の区域の基地になる札郷作業所にマイクロバスなどに分乗して向かいました。調査区域は [札郷] 25～28林班および周囲の民地23区画です。調査



の方法は各自が決められた担当区画に入って一定時間(1時間30分)シカ、イノシシ、サル、キョンなど目視した大形哺乳類を記録する方法です。私の担当区域は昨年と同じ札郷作業所近くのH14区画でしたが、残念ながらシカなどを見ることはできませんでした。岩崎さんは職員の石野さんと札郷北のH15の担当です。

札郷作業所で昼食休憩をして、再び清澄作業所に戻りました。午後は[清澄]43～47林班および周囲の民地の23区画を午前と同じ方法で午後2時より1時間30分の間、調査をします。担当区画はK9区画で清澄寺の裏の妙見山とその周囲です。昨年と同じの調査区域で清澄作業所に一番近いところなので、ゆっくりとスタート時間の午後2時になるのを待って先ず清澄寺の本堂の裏の妙見山の頂上に向かって歩きはじめました。頂上で一休みして、観察し、南東方向の尾根を下り、途中でゆっくり時間をかけて観察します。谷底まで下りると降りると大変なことが過去の経験からわかっていますのでここで一旦引き返し、再び千年スギの先の道を谷に下り観察をしました。観察終了時間の15時30分に

なりましたがやはりシカなどを全然見ることが出来ませんでした。岩崎さんは昨日と同じく石野さんとK2（高天神の南、一杯水林道下）が調査区域でした。

翌日の11日は昨日に続いて穏やかな良い天気です。朝9時00分に清澄作業所の前に集合し、今日の調査区域である郷台地区にマイクロバスで出かけました。調査区画は[郷台]3, 4, 5, 10, 11林班の25区画で午前11時より1時間30分の間調査します。私の調査区画はG1で一般公開の柚ノ木歩道の西側です。一般公開区間の近くなのでよく知っている場所ですが、ひとりで初めてのコースというのは時間配分がうまくいか最初は心配があります。同じように岩崎さんはK14（中ノ沢歩道の東側）を一人で担当しましたが、大変心配そうでした。私の場合、一番気にしていた尾根筋より直下する箇所はかなり細かくテープ表示がありましたので助かりました。しかしここでもシカなどの姿を見ることは出来ませんでした。岩崎さんも自分の調査区域はモミ・ツガ天然林で美しいところとっていましたので、無事終了したようです。

終了後、郷台作業所で昼食をとり、調査結果のとりまとめを行い、清澄作業所へ戻って解散となりました。今回は天候にめぐまれ、特に問題もなく無事終了しました。

今年のシカの生息密度（頭/平方km）は[清澄] 1.0、[札郷] 8.7、[郷台]3.3とこのことで、昨年の[清澄]2.0、[札郷]12.0、[郷台]5.0と比較するといずれも減少傾向となりました。

## 1月度（2）定期ボランティア活動・報告

～演習林・冬の森を歩こうサポート～

ボランティア 石川 輝雄

1月19日（土）に一般者を対象とした演習林・冬の森を歩こうが行われ、サポート役として近藤（禮）、土橋、堀込、恵、秋葉さんと石川（輝）（れい）の計7名が参加しま



した。

最初は清澄作業所 東漢森 今澄 仁ノ沢を經由し長尾 女滝 不動の滝のコースが予定されていましたが、1月15日（火）の下見の結果、仁ノ沢の谷を渡る歩道が崩壊していて、道がなくなっていたので、このコースはとりやめ、浅間山から中ノ背を通過して長尾歩道 女滝

不動の滝を歩くことに変更しました。

当日の参加予定者が23名と多いので、2班にわけて1班はマイクロバスに乗って不動の滝の近くまで行き、浅間山経由で清澄に戻るコース、2班はこれと逆回りのコースです。どちらも歩き始める所が急な登りでひと汗かくところですが、後は尾根すじの上り下りの少ないコースなので、ゆっくり演習林の冬の森を楽しむことができます。途中、尾根筋のヒノキ(林齢103年)が伐採され開けた所がありますが、ここは3回にわたって、ヘリコプターを使った集材作業を行ったところです。

最後に参加された皆さんの感想をききましたが、コースがきつかったという方と、この地方の山は険しいのが事実なのだからこのコースで良いという意見に分かれました。普段歩きなれている方と歩いてない方の差ではないかと思います。実行するのは大変かも知れませんが、楽なコースと、ハードなコースを設定して選んで参加してもらうなどの方法もあるかと思いました。

### ボランティア 秋葉 正子

石川さんからこの会を紹介され、入会しました千葉市の秋葉正子です。今回が初めての参加ですがよろしくお願いします。

朝7時に千葉市の石川さん宅の前で待ち合わせ、石川さんの車に同乗して約2時間半位かかって集合場所である演習林の清澄作業所に到着しました。ここで演習林の先生から観察会についての説明と注意事項を聞いたあと全員ヘルメットをつけ2班に分かれ、私の班は清澄寺に向かって歩きはじめました。

清澄寺の周囲にある杉は300年から500年の超高齢スギとのことであまりの大きさにただ見上げるのみ、現在なお威厳を保ち清澄寺を守っている、納得です。

その後、清澄寺をあとにして浅間山の頂上をめざして急登、息切れをしながらひたすら登ります。ときどき休憩で立ち止まった時に人工林、天然林、ヒメコマツ、ニホンジカの生息状況、原生林概要など詳しい説明をしていただきとても楽しい森歩きでした。

演習林の先生方、ボランティア会 Abies の皆様、楽しい1日有難うございました。これからもよろしくおねがいします。



綿毛のようなキジョランの種子

## 2 月度 定期ボランティア活動・報告

～ 向山・加勢林歩道杭設置作業～

ボランティア 土橋 てる子

入会して初めて Abies のボランティア活動に参加した土橋です。今回の活動は 2 月 1 4 日(木)から 1 5 日(金)の 2 日間にかけて行われるとのことでしたが私と恵さんは 2 日目の 1 5 日に参加をしました。

朝からよく晴れています。恵さんに車で家まで迎えに来てもらいましたが、先日(2 月 3 日)降った雪の道路状況を心配しながら集合場所の清澄作業所に向いました。道は除雪がされていて、集合時間通りに無事到着することが出来ました。今回の活動内容は林・歩道の標識杭の設置作業と聞いていますが、どんな所でどんな作業なのかワクワクドキドキです。(今回のコース向山・加勢林道は Abies としても初めて行くコースだそうです。)今日の参加者は岩崎、石川(夫婦)、西山、恵さんに私の 6 名、それに演習林の村川、三次さんの 2 名の計 8 名です。

三次さん運転の演習林の車に乗って折木沢の加勢林道入口に移動しました。ここは春・秋の演習林一般公開の受付のあるところです。今回、設置する杭は 1 8 本(K 0 ~ K 3 0)と多いので、2 つの作業用リュックに分けて、歩きます。三次さんは研究観測のため別行動です。このことが後でハプニングの原因となるのですが、このときは誰も気づきませんでした。

猪ノ川林道を歩きましたが、道はまだ所々凍っていて、最近あまり家の近くでは見ることの出来ないつららがみごとに岩壁からいっぱい下がっています。黒滝の先のトンネルの手前左側から本日の作業現場の向山歩道に入ります。ここから 1 0 0 m 毎に設置してあるはずの杭を確認しながら、消失している杭を打っていきます。杭の間の距離の確認には検縄(5 0 m の長さのひも状のものさし)を使い、先を歩き、杭を打つ係は西山さん達の男性陣が行い、私は後ろで確認の手伝いを 2 ~ 3 回程度手伝いました。作業中の合間に周囲にある草や木などの植物の名前を教えてくださいました。K 2 3 の杭が打ち終わったところで一つの作業用リュックに入っている分が全部無くなり、時間も区切りがよいので昼食となりました。

昼食が終わり休憩した後に次の作業に入ろう



猪ノ川林道沿いのつらら



雪が残る歩道

として立ち上がりましたが、後半（K24～K30）の杭が入っているもう一つの作業用リュックがありません。誰も途中で落とした様子もないので、車に置き忘れてきたようです。仕方がないので、今日の作業はここで終了として帰ることになりました。そのまま、同じ道を帰るのはつまらないのと後半の杭の設置確認のため、先の加勢 三十三曲 小屋ノ沢歩道を通り、猪ノ川林道の小屋ノ沢の土場の所に下りました。先に進むうちに保護樹

と看板のある大木や初めて見る珍しい木に感動したり、雪で枝が折れたり、根元から倒れている木をもったいないと思いつつ、雪で凍ってすべりやすいところ、落葉が積もってふかふかのところ、まだ雪が残っている所など、足元に気をつけながら歩きました。特に小屋ノ沢土場とそこに下りる手前の急坂は陽があたらない為に雪が完全に残っていて一面の銀世界でした。途中、岩崎さんに猪ノ川の川床が洗濯板のようになっている地層の話などを聞きながら黒滝を下に見ながら車のある加勢林道入口にもどりました。作業用リュックはやっぱり車の側（外）に置き忘れられていてさびしそうでした。

清澄作業所に戻り、宿舎を管理されている鈴木さんが暖かいお茶や焼きおにぎりなどを用意していただき、おいしくて冷えた体も温まり一日の疲れがぬけました。ごちそう様でした。本当に楽しい1日でした。



オニシバリの花



ケヤキの保護樹

# 3 月 度 ( 1 ) 定 期 総 会

～ 定 期 総 会 ・ 演 習 林 を 歩 こ う 不 動 の 滝 から 浅 間 山 ～

事 務 局 石 川 輝 雄

## 1 . 平 成 1 9 年 度 定 期 総 会

3 月 1 5 日 ( 土 ) に 開 催 し た 平 成 1 9 年 度 の 定 期 総 会 は、懇 親 会 と 翌 日 の “ 演 習 林 を 歩 こ う ” の 参 加 者 も 含 め 延 べ 1 6 名 の 参 加 を い た だ き、無 事 終 了 す る こ と が で き ま し た。

協 力 い た だ き ま し た 皆 様 に 感 謝 し ま す。

平 成 2 0 年 度 も 色 々 な 活 動 を 企 画 ・ 案 内 し ま す の で、ぜ ひ 参 加 く だ さ い。

今 年 は 昨 年 行 っ た 活 動 に 加 え、発 足 当 時 の 原 点 に 戻 っ て、森 林 の 保 全 作 業 や 歩 道 補 修 な ど の 活 動 も 計 画 し た い と 考 え て い ま す。

## 2 . 演 習 林 を 歩 こ う

3 月 1 6 日 ( 日 ) に “ 演 習 林 を 歩 こ う ” が 行 わ れ、会 員 1 2 名 と 山 田 林 長 先 生 を は じ め と し た 演 習 林 職 員 4 名 の 計 1 6 名 が 参 加 し ま し た。今 年 の コー ス は 過 日 一 般 者 を 対 象 と し た “ 演 習 林 ・ 冬 の 森 を 歩 こ う ” と 同 じ の 不 動 の 滝 から 浅 間 山 を 経 由 し て 清 澄 に も ど る コー ス で す。清 澄 作 業 所 の 近 く の 演 習 林 バ ス 停 よ り 四 方 木 の 不 動 の 滝 入 口 近 く ま で バ ス に 乗 っ て そ の 先 よ り 歩 き は じ め ま す。コ ー ス の と っ か か り は ま だ 演 習 林 の 外 な の で、分 か り に く い と こ ろ で す が、下 見 を 含 め、事 前 に 何 回 か 歩 い て い る の で、間 違 い な く コー ス を た ど れ ま す。こ こ か ら は ス ギ 林 の 中 の 急 登 で 息 が き れ ま す。途 中、コ セ リ バ オ ウ レ ン や ミ ス ミ ソ ウ、香 り の よ い コ シ ョ ウ ノ キ な ど 可 憐 な 早 春 の 花 を 観 察 し な が ら、あ る き ま し た。少 し 時 間 が 早 か っ た の で す が、ヘ リ コ プ タ ー 集 材 を し た 跡 地 で ゆ っ く り と 昼 食 を し て 時 間 を す ご し ま し た。そ の あ と は 比 較 的 上 り 下 り の な い コー ス で 浅 間 山 を 経 由 し 清 澄 作 業 所 に も ど り ま し た。天 候 に も め ぐ ま れ 楽 し い 1 日 で し た。



ミスミソウ



四方木不動の滝

## 3 月度 ( 2 ) 臨時ボランティア活動

～ 三石・郷台・猪ノ川ガイド～

ボランティア 石川 輝雄

3月23日(日)に「木更津・市民まちづくり塾自然グループ」への演習林ガイドを石川が行いました。今回は上総亀山駅(集合) 三石 地藏峠 柚ノ木歩道下 郷台宿舎への往復 猪ノ川林道 上総亀山駅(解散)というコースです。

参加者数は20名で上総亀山駅に朝8時30分に集合して、三石山観音寺に向かって歩き始めます。この間は車道なので時々通る車に注意しながらあるきます。三石山観音寺から先は山道になりますので、この途中で演習林のことや演習林の植物のことについて解説をしました。なお、メンバーの中に植物に詳しい石井秀美さんという方が同行されていますので、私と適時分担しての説明となります。本来ならもっと標高の高い700m以上のところにあるはずのヒメコマツやモミ、ツガがなぜ標高300mしかない房総の山にあるかということの説明には皆さん大変興味をもたれたようです。この付近の尾根筋につぼみをつけたミヤマシキミが多いのも新しい発見でしたし、シャシャンボというツツジ科の低木もありました。

予定よりかなり遅れ、地藏峠付近で昼食予定の12時になってしまったので、郷台宿舎を開けて待ってもらっている職員の村川さんに遅れる旨を携帯電話で連絡をしようとしたのですが、うまく通せず心配をかけました。郷台宿舎で遅い昼食をとり、その後、牛蒡沢のスギの美林、相ノ沢スギ栽培品種展示林、モウソウチ



ク開花実験場など、一般公開では見られない演習林の研究場所を見学し、説明をしました。この場所は一般公開では見ることの出来ない場所なので、皆さん特に興味をもたれたようで喜んでもらいました。

一休みして郷台宿舎を後にして一般公開のコースである猪ノ川林道の黒滝を經由して歩き、上総亀山駅に到達して解散となりました。帰りの電車の時間を気にして早く帰りたいという方がいたりして、帰りの猪ノ川林道はバラバラに歩くという形になってしまい、ゆっくり観察できる状態にはなりませんでした。逆に一般公開のコースと同じように折木沢より入って猪ノ川林道を郷台作業所まで歩き、地藏峠、三石山観音寺経由で回るコースの方がよかったのではと反省しました。

## 5 月度 定期ボランティア活動・募集案内予定

### ～ 造林研修会 & 歩道標識杭の補修整備 ～

5 月度の定期ボランティア活動は造林研修会の聴講と歩道標識杭の補修整備活動をおこないます。例年 20 日前後に行われますが、詳細決まり次第別途案内します。

特に造林研修会は演習林で行っている研究活動を知る良い機会でもありますし、歩道標識杭の設置も最終回となりますので多くの参加予定をお願いします。

## 6 月度 定期ボランティア活動・募集案内

### ～ 利用者説明会 ～

6 月度の定期ボランティア活動は千葉演習林利用者説明会の聴講をおこないます。5 月に予定されている造林研修会は千葉演習林の職員の研究発表会ですが、今回の利用者説明会は千葉演習林を利用して調査・研究をされている方々の発表・説明会です。

いずれも演習林で行っている研究活動を知る良い機会でもありますし、当ボランティア会 Abies の活動報告も行う予定です。多くの参加を希望します。

18 日のみの日帰り参加もできますので、この場合はその旨を添えて申し込みください。



昨年の利用者説明会の様子

**日 時** 平成 20 年 **6 月 18 日** (水) ~ **19 日** (木) (宿泊)

**集 合** 清澄作業所 18 日 10:00

**解 散** 清澄作業所 19 日 12:00 頃

**内 容**

- \* 6 月 18 日
  - ・利用者説明会 10:00 ~ 17:00 清澄講義室
  - ・懇親会 清澄学生宿舎
  - ・宿 泊 清澄学生宿舎
- \* 6 月 19 日
  - ・演習林見学会 9:00 ~ 12:00

<b>人 数</b>	9名	原則として先着順
<b>宿泊場所</b>	清澄学生宿舎 ( 04-7094-1990 )	
<b>参加費</b>	* フル参加	4,000円
(予定)	* 懇親会まで	2,000円
	* 利用者説明会のみ参加	無料

**持ち物** 筆記用具、弁当(1日目)、宿泊用持ち物など

**受付期間** 平成20年5月20日(火)～5月30日(金)

**申込方法** 電話、FAX、E-Mail のいずれかで申込みください。

A：フル参加、B：懇親会まで、C：利用者説明会のみ

参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

**申込み・問い合わせ先**

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

## 平成20年度 会員登録のお願い

本会は年度ごとの更新になっています。継続していただけないと Abies 活動の募集案内などが出来なくなります。継続参加をしていただける方については、その場で納入していただきましたが、その他、本年参加していただける方は次の方法での年登録料の振込みをお願いします。なお、保険料手続きなどの関係もあり、早めに振り込んでいただくと幸いです。

**年登録料の振込み方法**

もよりの郵便局より下記口座に振り込む。

また別途振り込みをした旨、事務局にメールなどで連絡ください。

\* 年登録料(振込み金額) 1,000円

\* 口座 郵便局 記号10560 番号68444171

千葉演習林ボランティア会 Abies

\* その他 手数料は各自ご負担ください。

=====

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.18 2008/4/30 発行

\* 事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

石川 輝雄

\* 東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321